

八戸三社大祭



か
く
の
や
便
り

今年も、〈八戸三社大祭〉の季節が近づいてまいりました！

昨年、国の重要無形民俗文化財に指定されたこの祭りは「日本一の山車祭り」

と称され、巨大で豪華絢爛な山車が、観る人すべてを圧倒します。祭りの主役の

「山車」は「三社」の名の通り、「神明宮」、「おがみ神社」、「新羅神社」の三つの神社グループがそれぞれ、7組・11組・9組の計27組（27台）を作製しています。

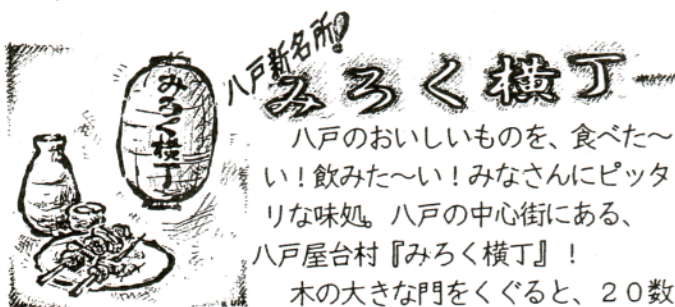
山車の題材には、神話・伝説・歌舞伎の他、その年のNHK大河ドラマから用いられることも多いのですが、今年も例外ではなく、「源義経」を題材とした山車が多く、特に神明宮附祭グループでは、なんと7組すべてが「源義経」を統一テーマに山車を作製。それぞれの組が自分たちの得意分野で様々な場面を演出し、義経の生涯の時代絵巻にするとのこと。

この「附祭グループすべて」が統一のテーマで山車作りをするのは、三社大祭約280年の歴史の中でも今回が初。歴史のある祭りにありながら斬新な試みですね。また、山車の見返しにも八戸に伝わる「義経北行伝説」にちなんだものさそうで、地元民の関心も高まります。

神明宮グループ以外でも「源義経」を題材に選んだ組があり、各組も山車作りに力を入れている様子で、今年の三社大祭は大いに盛り上がりそうです。

年々、造りの精巧さが増している三社大祭の山車。表情豊かで、今にも動き出さんばかりの龍や馬、武者の人形たちを乗せた山車が展開される様は、まさに圧巻ですよ。

今年はどんな素晴らしい山車で私たちを魅了してくれるのでしょうか。今から楽しみですね。



八戸のおいしいものを、食べた〜い！飲みた〜い！みなさんにピッタリな味処。八戸の中心街にある、八戸屋台村『みろく横丁』！

木の大きな門をくぐると、20数件のお店が軒を連ね、ちょっとレトロな感じの通りには、昭和30年代に活躍したあの懐かしい赤い丸型のポストもあるんですよ。

お店も、カウンターを水槽にしたり、昭和30年代をテーマにしたりとそれぞれ工夫をこらしています。

もちろん、お料理にも独自のこだわりがあり、八戸近海の魚介類にこだわったにぎり寿司、串刺し魚の炭火焼き、海の幸いっぱいラーメン・・・昔ながらの八戸の郷土料理、お馴染みのいちご煮、せんべい汁、ひつつみ（すいとん）、以前加久の屋便りで紹介した豆しとき・・・八戸周辺の食材や旬のものでつくるオリジナルのものなど！旬のものをを使った家庭の味から丹精こめて作り上げた創作料理までいろいろな八戸の味を楽しめます。

八戸においでの際は、心のこもった美味しい料理を囲んで出会いや時間を楽しむところ八戸屋台村「みろく横丁」へどうぞお立ちください。

おひとりでも、お友達とでも、大歓迎されることまちがいないですよ！

《いちご煮とっこむ》

このたび、「味の加久の屋のいちご煮」を紹介しているホームページ（<http://www.ichigoni.com/>）にて、味の加久の屋商品のご注文が出来るようになりました！

今まで、こちらのいちご煮ページでは、「いちご煮のご紹介」ページということで、「いちご煮お試しセット」のみがご注文可能でした。

しかし！これからは「お試しセット」だけでなく、「味の加久の屋」の様々な商品を、インターネットからもご注文することが可能です！

加久の屋のお得意様である皆様へは、割引の宅配価格でおすすめ品を購入できる、「お得意様ページ」をご用意しております。ご利用には、下記パスワードが必要となります。

・URL: <http://www.ichigoni.com/152>

・ユーザー名: ichigoni

・パスワード: 152

いちご煮ドットコムでは、いつでも、気軽に、商品の写真を見ながらお買い物が出来ます！どうぞご利用

くださいませ。もちろん、従来どおりにFAX・郵送でのご注文も大歓迎です！

これからも、「味の加久の屋」をご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。



第11号
平成17年6月

-----《お客様のお声をお聞かせください》-----

「八戸に行ったら、こんな所が良かった。」「もっとこんな情報が知りたい。」など、この紙面や八戸情報に対するお便りの他、「〇〇〇おいしかったよ。」「こんな食べ方が美味しい」といった商品に対するお便りなど、なんでも結構です。お寄せいただいたお客様の喜びの声、ご意見を元に、商品やサービスの向上に反映させていきたいと思います。

* 今後、味の加久の屋からの情報をご不要という方は、お手数でも、同封の返信用封筒にお客様のご住所、お名前の部分をお入れになり、ご返送ください